

第2学年「確率」単元指導構想図

- 割合（小学校）
- 場合の数（小学校）
- データの分析（中1）

• 「同様に確からしい」ことの意味を理解し、身の回りの様々な事象において、確率によって結果を予測したり、判断したりしようとする態度を養う。

- 場合の数と確率（数A）

<学びに向かう力、人間性等>

- 場合の数を基にして得られる確率のよさを実感して粘り強く考えようとしている。
- 不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
- 確率を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。

数学的な見方・考え方

- 統計的確率を根拠にして説明する。
- 実験によらずに確率を求める方法はあるか考える。
- 起こりうる場合が同様に確からしいかどうかを確認し、表や樹形図を用いて、もれなく重複なく全て数え上げて考える。
- 出た目の条件を変えて考える。
- 確率を根拠にして、ことからの起こりやすさを説明する。

<知識及び技能>

- 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性と意味を理解している。
- 「同様に確からしい」ことについて理解している。
- 起こり得る場合を、樹形図で表すことができる。
- 簡単な事象について、確率を求めることができる。
- 樹形図や表などを用いて、確率を求めることができる。

<思考力、判断力、表現力等>

- 「同様に確からしい」ことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考えることができる。
- 起こり得るすべての場合を樹形図や表に表し、同様に確からしいことをもとにして、確率の求め方を考えることができる。
- 確率を用いて不確定な事象を捉え考察し、表現することができる。

第2学年 第7章 確率 単元指導計画

時	学習内容	知識・技能	思判表	主体的な態度	評価方法（記録）	把握すべき学習状況（行動観察）
1	確率とその求め方（1）	知①②			知②：ノート	<ul style="list-style-type: none"> 「同様に確からしい」の意味を理解する。 確率の求め方を理解する。
2	確率とその求め方（2）	知①②			知①②：小テスト	<ul style="list-style-type: none"> 確率の求め方を理解する。 確率の値の範囲を理解する。
3	確率と場合の数	知①②				<ul style="list-style-type: none"> 樹形図を用いた確率の求め方を理解する。
4	確率の求め方の工夫		思①	態①	態①：ノート	<ul style="list-style-type: none"> 樹形図や表を用いて、工夫して確率を求める。
5	確率の利用（1） くじ引きの当たりやすさを考えよう		思②	態②	態②：ノート	<ul style="list-style-type: none"> くじの順番により、くじの当たりやすさは変わらないことを理解する。
6	確率の利用（2） くじ引きで選ばれる確率を考えよう		思②	態②	思②：小テスト	<ul style="list-style-type: none"> 組み合わせの考え方を理解する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解している。 ②簡単な事象について、確率を求めることができる。	①「同様に確からしい」ことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考えることができる。 ②確率を用いて不確定な事象を捉え考察し、表現することができる。	① 場合の数をもとにして得られる確率のよさを実感して粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ② 確率を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。